

サイクルサッカー 安井孝男

まず、リーグ戦のことについて。今年から春のリーグ戦でも入れ換え戦を行なうようになつた。今年まではAリーグ入りを目指し、ハリキッていたけれど、春、秋ともにBリーグでは全勝しておきたがらAリーグには上がれなかったという「ショボイ」結果に終わった。

「ショボイ」結果に終わった原因の一つは試合会場の床が滑りやすかつたことだ。春、秋共に中央学院で行なわれたのだが、中央学院の体育館の床は、「リノリウム」でできていて、少し汚れるとすぐ滑り、ワックスもかけていない状態であった。リノリウム製の床の体育館でのぼく（安井）と涌島さんの会談。

ぼく「どうもおかしいなァ……」

涌島さん「おかしい、おかしいや言うな、もう本当に、お前がおかしい、おかしいや言うと、本当もおかしくなるんだからもう本当に……」

ぼくは喉底性が悪く、いつもと少しでも違ふとすぐ調子がおかしくなつてしまふ。涌島さんに迷惑をかけたしまった。

リーグ戦のことはこのくらいにして一年はというと、現在一年は三浦一人をけなつたので、もう一人くらいほしいところだ。北原も初め少しやっていたが、いつのまにか行方不明になつてしまった。奔藤をくどき落とさ下宿させてサイクルサッカーに引きずり込むという策がどう出るかどうなるかどうなるか、

それと小川が今年からサイクルサッカーを始めた。三浦、小川を組ませて今年の新人戦に出すつもりだが、少々練習不足で上達が遅れがみのようである。三浦などは金がかかっているのでもっとにガンバってほしい。

機材の面では最近に類を見ない進歩である。もうまじ一人一台になるうとしている。現在、ぼく用の自転車と神島さん用の自転車は前後輪にチューブラーを履き、クランクはコッタレスである。山口用自転車も前輪にはチューブラー、後輪も間もなくチューブラーになる。小川の自転車も前輪がチューブラーになるうとしている。ミニでチューブラーと書いてあるのは、昔(?)のようにW/D用軽リムにチューブラータイヤを履かせたものではなく、パイプリム又はチューブラー専用ソリッドリムにチューブラーを履かせたもので、このような正式な使い方はあの安藤さん以来ではないかと思う。ミニでダークホースの三浦の登場であるが、彼の自転車はかなりよい物になると思われる。REYNOLDS 531 BUTTEDのホークチューブを使い、前後チューブラーはもちろん、後輪は36穴を使い、ホブにはなんと「DURA-ACA」を使っているのである(実はぼくが買わせた)。ぼくが1年のときには前後に鉄リムW01/2を履いて練習していて試合になると鉄リムにチューブラーとかW01/4を履いていた(もちろん前輪だけ)ことを思うと夢のような感じがする。

さて 全日本のことを書いておかなければなりません。結果は

1回戦、関西のチームと当たり8-3で勝ち、2回戦、中央学院
4チームと当たり3-9で負けしてしまったのでした。関西の特に
桃山のチームのスピードと動きを見ることのでき、又3000円
使ったので誠によが、又(3000円は交通費、そのほか弁当代が出た)

今年中におと新人戦があるが、せ、かく自転車がよくなくて
体育館が使用できないので、練習が思うようにできないので困、て
いる。アスファルトの上でチョコマカ練習するしかないようだ。

今年の冬は個人技を主に練習して、体育館が使えるときのた
めにきをつけておきたいと思、ている。

『来年こそAリーグ入りをするゾー!』

